

「日本では狂犬病は発生しない!」…と、思っていないですか?

狂犬病は、全てのほ乳類に感染するウイルス性疾患です。

近年、海外から様々な種類の動物が輸入されていますので、狂犬病の侵入の危険性はゼロではありません。

■狂犬病に感染すると…犬の場合

症状は? 目的もなく動き回ったり、吠えたりするようになります。次いで、目に入るものはなんでも咬みつくなど、攻撃的になります。

また、喉が麻痺するために食べ物や水を飲み込めなくなることもあります。そして、立ち上がって歩くことも困難となり、やがて昏睡状態となり死亡します。例外で、攻撃的にならず、麻痺症状のみの場合もあります。



治療方法は? 発病した犬には、有効な治療法がありません。

■狂犬病に感染すると…人間の場合



症状は? 1～3ヶ月の潜伏期の後に、発熱、食欲不振などに加えて咬まれた傷の痛み、知覚の異常が現れます。やがて、水を飲もうとすると喉のけいれん発作がおこるようになり、飲水が不可能となります(恐水症)。そして、高熱、幻覚、錯乱、麻痺などのさまざまな神経症状をおこします。さらに、全身のけいれんが現れ昏睡に陥ります。この後、呼吸困難、血圧の低下などをおこし、死に至ります。

治療方法は? 発症すると有効な治療法はありません。

■狂犬病からあなたと犬(家族)を守るために

必ず、年1回、狂犬病予防注射を受けましょう。



* 生後、91日以上犬を飼っている方は、法律で、犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

「東濃西部広域だより」は、東濃西部の三市(多治見市、瑞浪市、土岐市)の共同事務処理を行う「東濃西部広域行政事務組合」が、その事業内容を圏域の皆様にご覧いただくために発行している広報紙です。年に2回(10月と3月)発行しています。

「東濃西部広域行政事務組合」は、東濃看護専門学校等の管理運営、青少年の健全育成及び非行防止、消費生活相談、広域の産業及び観光の振興、医師確保奨学資金等の貸付、犬の登録及び狂犬病予防、ふるさと市町村圏基金の設置及び管理運営に関する事務などを行っています。

構成市の状況

	多治見市	瑞浪市	土岐市	計
人口(人)	112,887	38,863	59,605	211,355
世帯数(戸)	45,636	15,297	24,167	85,100
面積(km ²)	91.25	174.86	116.02	382.13

(人口、世帯数はH28.8.1現在・面積はH27.10.1時点国土地理院調)